

5 報告（１）児童生徒数の推計について

①学級数の適正規模

「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引（H27 年 1 月文部科学省）」に準じて、茂原市教育委員会会議で適正規模を決定。

○小学校

12 学級以上 18 学級以下

○中学校

9 学級以上 18 学級以下

②学校規模ごとの基本的な方向性 ※茂原市学校再編基本計画より抜粋

○小学校

全体の学級数	基本的な方向性
1～5 学級	速やかに統廃合
6 学級	今後児童数の増加が見込めなければ、速やかに統廃合
7～8 学級	今後児童数が減少し単学級となる見込であれば統廃合
9～11 学級	統廃合や学区の見直し等、適正規模に近づける方策を検討
12～18 学級	【適正規模】

○中学校

全体の学級数	基本的な方向性
1～3 学級	速やかに統廃合
4～8 学級	今後生徒数が減少する見込であれば、統廃合や学区の見直し等を実施
9～18 学級	【適正規模】

③令和 3 年 5 月 1 日現在の児童生徒数及び学級数について

○小学校

校名	児童数	学級数
東郷小	4 6 6	1 7
豊田小	3 0 5	1 2
茂原小	2 8 5	1 2
西小	1 9 8	8
五郷小	2 4 3	1 0
鶴枝小	1 4 9	6
萩原小	5 5 4	1 8
中の島小	3 1 6	1 2
本納小	1 6 0	6
新治小	3 0	5
豊岡小	1 7 1	7
東部小	5 7 6	2 0
二宮小	2 2 9	9
計	3, 6 8 2	1 4 2

○中学校

校名	生徒数	学級数
東中	3 5 6	1 1
富士見中	3 8 9	1 2
茂原中	3 9 7	1 2
南中	4 7 0	1 4
本納中	2 3 5	8
早野中	1 6 6	6
計	2, 0 1 3	6 3

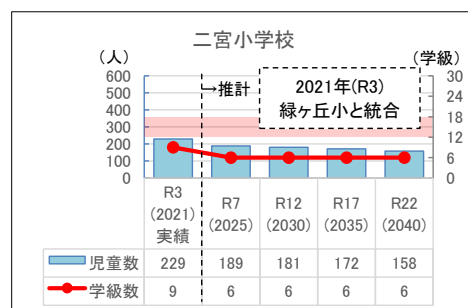
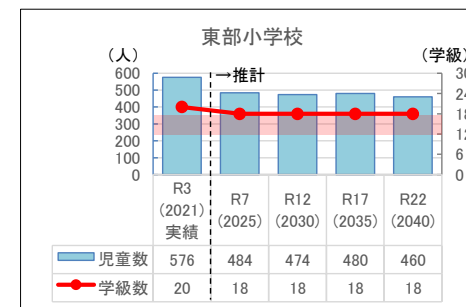
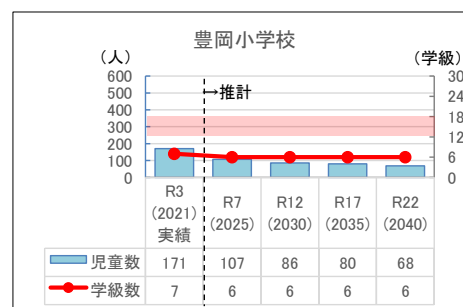
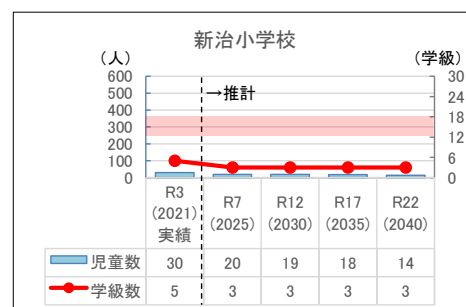
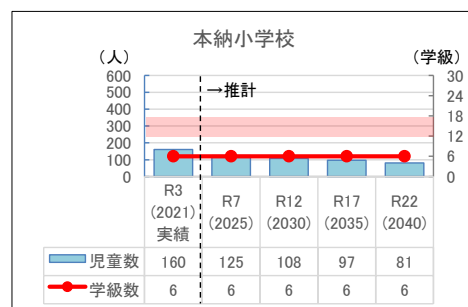
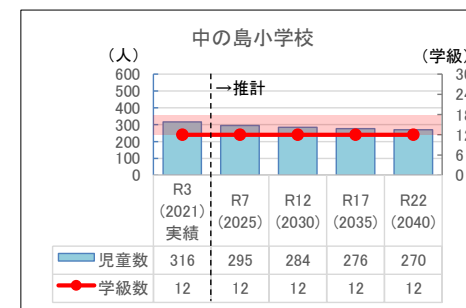
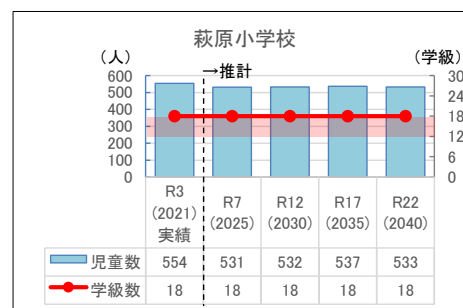
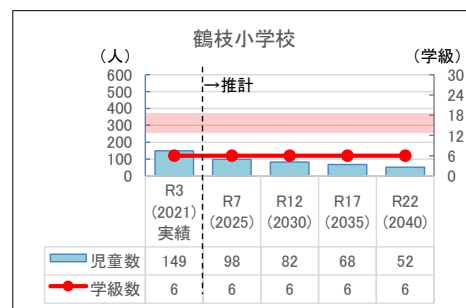
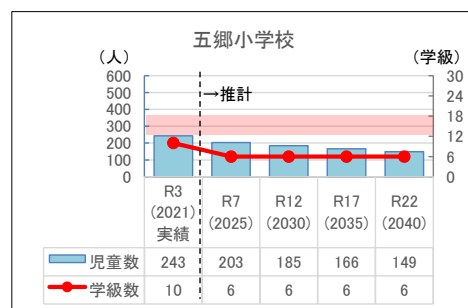
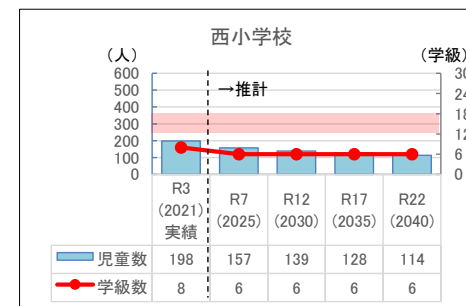
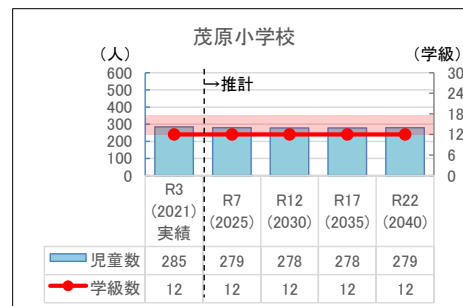
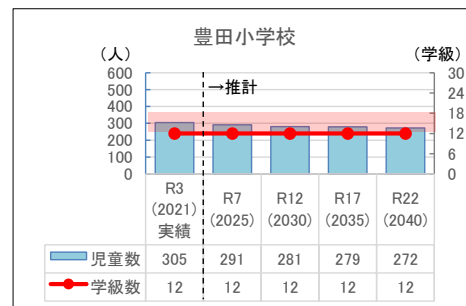
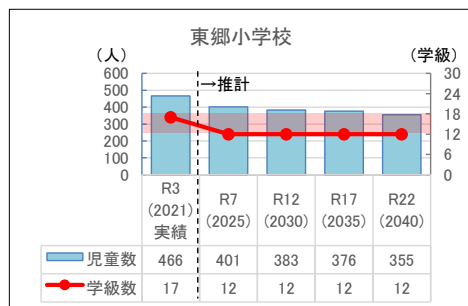
※ 〇の学校は、適正規模でない学校。

※二宮小は R3. 4. 1 に統合済。

※学級数に特別支援学級は含めない。

④学校ごとの児童生徒数及び学級数の推移・推計 ※縦棒は児童生徒数（左軸）、折れ線は普通学級の学級数（右軸）

○小学校



【推計方法について】

- ・全体の児童生徒数については、「茂原市人口ビジョン」（令和3年3月改訂）の基礎数値をベースに計算。
- ・学校ごとの児童生徒数については、令和3年4月1日現在の住民基本台帳をベースにコーホート変化率法(*1)により計算。
変化率については、H28～R3までの5年間の変化率を用いている。
- ・学級数については、学級編制の標準の引下げ(*2)に伴い、小学校は全年で1学級35人で計算。※中学校は変更なし。

*1 コーホート変化率法とは、各コーホート(同じ期間に生まれた集団)について、過去における実績人口の動勢から「変化率」を求め、それに基づき将来人口を推計する方法。

*2 「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」の一部が改正(R3.4.1施行)。R3年度から段階的に適用しR7年度で全年で1学級35人。

[参考] 学級数の算定式について ※()の端数切り上げ

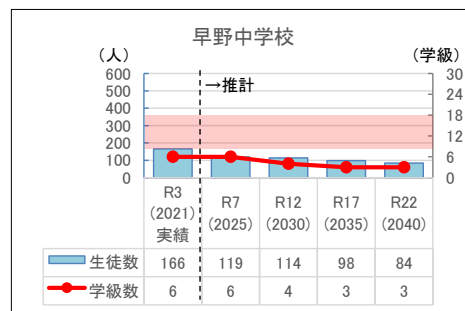
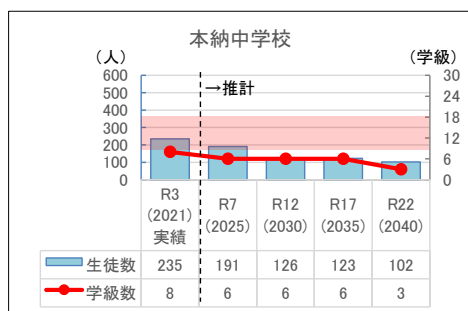
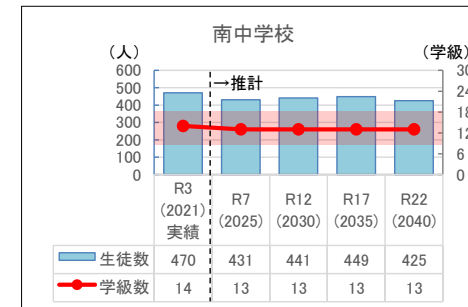
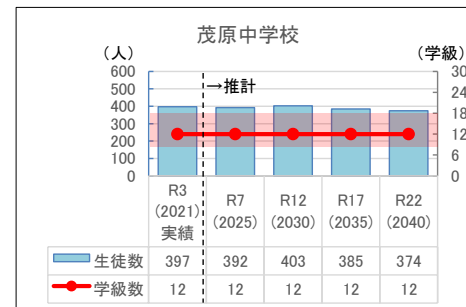
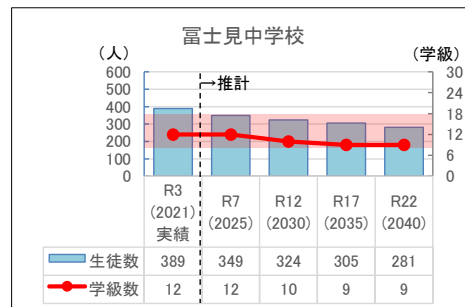
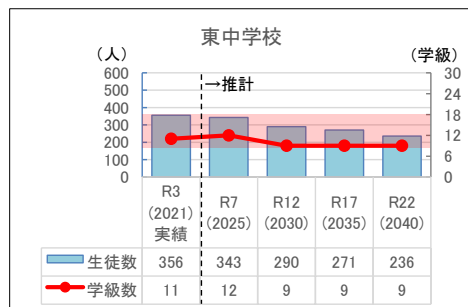
《小学校》 学級数 = (児童数 ÷ 6学年 ÷ 35人) × 6学級 ※40人以下の場合は3学級[全て複式学級]、48人以下の場合は4学級[2学級が複式学級]。

《中学校》 学級数 = (生徒数 ÷ 3学年 ÷ 35人) × 1学級 + (生徒数 ÷ 3学年 ÷ 38人) × 2学級

<学級数の表示> 小学校：「6」…5～6学級、「12」…7～12学級、「18」…13～18学級

中学校：「6」…5～6学級、「9」…8～9学級、「12」…11～12学級、「15」…14～15学級、「18」…17～18学級 他は表示のとおり。

○中学校



⑤推計に基づく学校規模ごとの基本的な方向性

2025 (R7) は基本計画の計画期間最終年度

小学校	2021 (R3) 実績		2025 (R7) 推計		基本計画による考え方 (学校規模ごとの基本的な方向性)
	児童数	学級数	児童数	学級数	
東郷小	466	17	401	12	
豊田小	305	12	291	12	
茂原小	285	12	279	12	
* 西小	198	8	157	6	増加が見込めなければ速やかに統廃合
五郷小	243	10	203	6	増加が見込めなければ速やかに統廃合
* 鶴枝小	149	6	98	6	増加が見込めなければ速やかに統廃合
萩原小	554	18	531	18	
中の島小	316	12	295	12	
* 本納小	160	6	125	6	増加が見込めなければ速やかに統廃合
* 新治小	30	5	20	3	速やかに統廃合
* 豊岡小	171	7	107	6	増加が見込めなければ速やかに統廃合
東部小	576	20	484	18	
二宮小	229	9	189	6	緑ヶ丘小と統合(令和3年4月)
合 計	3,682	142	3,182	123	

中学校	2021 (R3)		2025 (R7) 推計		基本計画による考え方 (学校規模ごとの基本的な方向性)
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	
東中	356	11	343	12	
富士見中	389	12	349	12	
茂原中	397	12	392	12	
南中	470	14	431	13	
本納中	235	8	191	6	統廃合せず存続 [第一次実施計画で決定]
* 早野中	166	6	119	6	減少する見込みなら統廃合等
合 計	2,013	63	1,826	61	

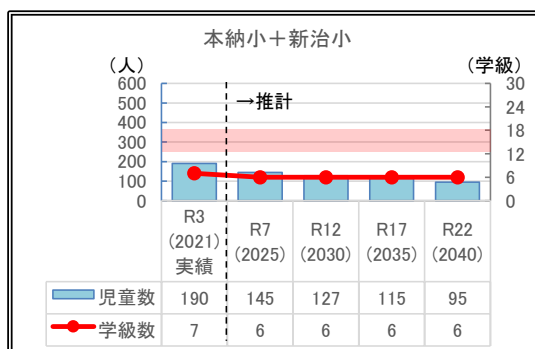
* の小中学校については、学校再編第一次実施計画において統廃合等について検討となっている学校です。

※端数処理の関係で合計が合わないことがあります。

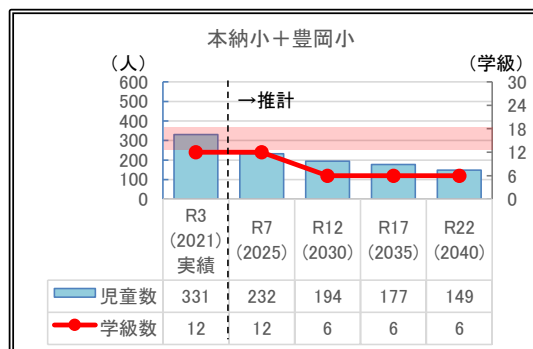
⑥具体的な学校再編案に基づく児童生徒数の推計

※「具体的な学校再編案」は審議会において審議された内容をまとめたものです。
 ※下記のグラフの縦棒は児童生徒数(左軸)、折れ線は普通学級の学級数(右軸)

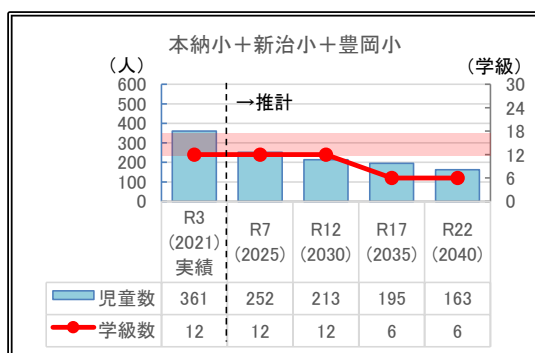
1) 本納小学校と新治小学校の統合について



2) 本納小学校と豊岡小学校の統合について



3) 本納小学校と新治小学校と豊岡小学校の統合について



■ 1)～3)と4)の推計方法の違いについて

・ 1)～3)はコーホート変化率法に基づく推計値[P2参照]であり、4)は住民基本台帳に基づく見込みであるため、それぞれ推計方法が異なることから、児童数と学級数に差異が生じている。

4) 本納ニュータウンを見込んだ場合の児童生徒数について

※住民基本台帳(R3. 4. 1現在)を基に試算

	R 5 (2023)	R 6 (2024)	R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 9 (2027)
本納小学校	146	132	118	106	97
新治小学校	25	24	21	22	18
豊岡小学校	—	—	—	97	91
*本納ニュータウン	24	33	40	45	49
小学校計/学級数	195/8	189/8	179/8	270/11	255/11
本納中学校	202	187	189	197	173
*本納ニュータウン	16	23	29	34	38
中学校計/学級数	218/7	210/7	218/8	231/9	211/7
学級数合計	15	15	16	20	18

*「(仮称)本納ニュータウン宅地開発事業」を「本納ニュータウン」と表記

*本納ニュータウンの推計値は、事業者のプラン(聞き取り)により試算 [年最大30戸建築販売]

5) 南中学校と早野中学校の統合について

